基本施策

基本施策

(重点取組)

# さっぽろ障がい者プラン2024の策定方針について(案)

#### 1 さっぽろ障がい者プラン2024の構成

現在の「さっぽろ障がい者プラン2018」は、「障がい者計画」「障がい福祉計画」「障がい児福祉計画」を一体のものとした、札幌市の障がい福祉施策を推進する計画です。 策定から6年後の2024年3月に、全部改定を行います(障がい福祉計画・障がい児福祉計画の「サービス見込量」設定に併せて、基本的な施策(障がい者計画)を見直します。)。

現行プラン(2018~)

障がい者計画(2018-2023 6年間) *障がい福祉に関する基本的施策*【障害者基本法】

障がい福祉計画・障がい児福祉計画 (2018-2020 3年間) サービスごとの必要な量の見込み 【障害者総合支援法・児童福祉法】

障がい福祉計画・障がい児福祉計画 (2021-2023 3年間) サービスごとの必要な量の見込み 【障害者総合支援法・児童福祉法】

全部

改定

新プラン(2024~)

障がい者計画(2024-2029 6年間) *障がい福祉に関する基本的施策*【障害者基本法】 障がい者文化芸術活動推進計画

障がい者による文化芸術(鑑賞・創作等)の推進【障害者文化芸術推進法】

視覚障がい者等の読書環境整備推進計画 視覚障がい者が読書しやすい環境整備【読書バリアフリー法】

障がい福祉計画・障がい児福祉計画(2024-2026 3年間) サービスごとの必要な量の見込み【障害者総合支援法・児童福祉法】

障がい福祉計画・障がい児福祉計画(2027-2029 3年間) サービスごとの必要な量の見込み【障害者総合支援法・児童福祉法】

2018年施行の「障害者文化芸術推進法」、2019年施行の「読書バリアフリー法」では、「地方自治体が推進計画策定に努める」よう求めています。 このたびの改定プランは、文化芸術の推進、読書環境の整備の観点も取り入れて「これら2つの推進計画を含んだ計画」と位置付けます。

#### 2 さっぽろ障がい者プラン2024の策定方針

念の

具体

国が定める障害者基本計画や基本指針に即し、障がい児者実態調査やヒアリングで得られた障がい当事者等の実態や意向を踏まえ、現状と課題を整理して改定の方向性を検討し、計画 目標、分野、基本施策の見直しを検討していきます(計画検討部会で検討します。)。

障がい者計画(障がい者文化芸術活動推進計画・視覚障がい者等の読書環境整備計画を含む)

## 基本理念

共生社会

の実現

障がいのあ る人もない人 も、その命の 尊厳が当然に 保証され、市 民誰もが互い に人格と個性 を尊重し支え 合う共生社会 の実現

部会での検討

**──** 方向性に従って、計画目標・分野・基本施策の見直しを検討

### 障がい者施策をとりまく国の動向(主な法整備)

障害者文化芸術推進法施行(2018年) 読書バリアフリー法施行(2019年)

障害者雇用促進法改正(2019年)

児童福祉法改正(2020年)

障害者総合支援法改正(2021年)

障害者差別解消法改正(2021年)

障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション

施策推進法施行(2022年)

#### 国の基本計画・基本指針策定(2023年3月予定)

#### 札幌市の障がい者施策の展開

持続可能な開発目標 (SDGs) の推進 第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン策定 中期実施計画(アクションプラン)

#### 障がい者プラン2018の進捗状況

#### 障がい児者実態調査(2022年度実施)

障がい当事者、事業所、企業等の実態や意見

#### その他現行プラン策定後の新たな課題

障がい者の人権擁護 新型コロナウイルス感染症の対応 ヤングケアラー支援 など

# 現行の計画目標

地域社会の障がいのある人に対する

障がいのある人の自己決定の尊重 と意思決定の支援

施設、病院から地域への移行推進と 地域生活を支えるためのサービス 提供基盤整備

市民、事業者、行政などの連携強化 による地域の福祉力の向上

障がいのある子どもへの支援

障がいを理由とする差別の解消

情報アクセシビリティの 向上・意思疎通支援の充実 障がいを理由とする差別の 解消 • 権利擁護 暮らしの支援 保健・医療の推進 療育・教育の充実

現行の分野

障がい等への理解促進

生活環境の整備

雇用・就労の促進

スポーツ・文化等の振興

安全・安心の実現

障がい福祉計画・障がい児福祉計画 **(サービスごとの必要な量の見込み(年度ごとに設定))**